

研究タイトル: **ドイツの被追放民政策**



氏名:	瀧川 貴利 / たきかわ たかし	E-mail:	takikawa@kushiro-ct.ac.jp
職名:	准教授	学位:	修士(経済学)
所属学会・協会:	政治経済学・経済史学会 社会政策学会		
キーワード:	15 社会科学 ドイツ 経済史 移民		
技術相談 提供可能技術:	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 		

研究内容:

ドイツの被追放民政策

ドイツと日本は、第二次世界大戦後の経済復興に成功しました。しかし両国は領土の喪失やそれともなう労働力の受け入れで大きな違いが存在しました。日本は北方領土などのほか、朝鮮、満州、台湾などの植民地を失いましたが、ドイツはさらに大きな自国領土を失いました。

ドイツは第二次世界大戦後、これらの領土から来た被追放民を多く受け入れます。そしてそれらの人々が、ドイツ連邦共和国の戦後の経済復興に重要な役割を果たします。ドイツ政府が、どのような難民政策を行い、ドイツの戦後の被追放民政策は、北方領土問題を抱える北海道の参考にもなると思います。

また私は被追放民をはじめ、ドイツと日本の移民政策や難民政策について比較しています。ヨーロッパでは、どのような移民問題があるのか、それをどのように解決していったのかなどについて研究しています。

ドイツ領土(1918年時点)



提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)	